

二期決戦に勝利し、 全世界の反戦・反核闘争の先頭にたとう！



仏・ラルザック、西独・フランクフルトの仲間も合流して 3・28集会は
大高揚を勝ちとった。二期決戦に勝利し、世界の反戦・反核闘争を牽引しよう。

港公団と同盟一部幹部の話し合いによる切り崩し攻撃と全力で闘いぬき、これを粉碎し勝利した。空港反対・話し合い拒否の同盟基本路線は不動であり、敵・政府・公団は打撃を受けている。世界が核戦争の危機にある中で、人民は起ちあがっている。三里塚は全国の闘う人民の砦として、同盟は先頭に立つ責任があり、五・二三反核東京大行動に決起する。また、これに敵対する革マルを許さず、全国から追放することを訴える」との力強い開会宣言を發した。

反核広島集会の二〇万人を三里塚へ
主催者代表 小川 源氏

五・二三反核東京集会に大合流しよう
基調報告 北原事務局長

基調報告は北原さんから、「全国の皆さんに御心配をかけたが、石橋・内田両氏は反対同盟の基方針に従い解任し、役員を三倍に増し、二期阻止・廃港・対話路線拒否で闘うことを確認した。三里塚闘争は十七年目に突入したが、私達の闘いは代償を求めるのではなく、権力と対決して闘いぬいてきた。今日のような大結集、この力で闘うならば三里塚の勝利は確実だ。三里塚を反戦の砦として全国に呼びかけていく。反対同盟はあらゆる

3.28集会 反対同盟農民の決意

三・二八、三里塚現地大集会は、全国から一四三〇〇名の労働者・人民が大結集し、画期的な大成功を勝ちとった。政府・空港公団による「話し合い」路線なる切り崩し攻撃と対決し、これを見事に打ち破って開かれた大集会は、二期勝利の確信と、なによりも反戦・反核の砦として日本階級闘争を領導し、勝利する展望が、三里塚にあることを確認したといえる。本号ではとりわけ、反対同盟農民の勝利の確信にみちた発言を紹介する。

同盟切り崩し攻撃を粉碎し勝利した
開会宣言 熱田一氏

まず熱田一氏は、「

敵と闘ってきたが、革マルは住民闘争の破壊者であり絶対粉碎しなければならぬ。反対同盟は五・二三反核集会に、全国から東京大合流を訴え、七・四、三里塚現地集會を開催し、全人民と共に闘う決意を明らかにする」と述べられました。

一坪の土地も売らない
敷地内農民 島村良助氏

反対同盟の闘う決意は、集会の最後に敷地内農民を代表して島村良助さん、小川嘉吉さん、青年行動隊から述べられました。

島村さんは、「私は人間の権利を守る闘いとして十七年間闘ってきた。政府・公団・機動隊こそ暴力集団ではないか。第二次代執行で大木よねの生活を奪い、二期工事で大木よねのように、人間の生活と生命を奪おうとしてできず、追いつめられた権力は話し合いをやってきた。なんでこんなことが許されるか。絶対話し合いに応じないし、取用法を粉碎し一坪の土地も売らない。代執行をやるなら多くの人達が結集し、粉碎するだろう。この闘いに勝利があることを確信し、今後も反戦・反核の砦として最後まで闘う」ときっぱりと決意を表明した。

反戦平和願いどこまでも闘う
敷地内農民 小川嘉吉氏

小川嘉吉さんは、「私は十六年不屈で闘ってきた農民です。「話し合い」は十六年間かかってもどする事もできなかった権力者の悪質な行為である。日本の、世界の反戦平和と核廃絶を願い、どこまでも闘いぬくことをちかう」と決意を述べられました。

三里塚に「話し合い」はない
青年行動隊代表 下野英俊氏

青年行動隊からは、「三里塚に「話し合い」はない。奪われた土地を奪い返し、緑の野につくりかえる人民の正当な闘いだ。二期阻止の決意も力強く高まっている。人民の反撃をつくり出そう」と決意表明しました。(つづく)

日刊 勤労千葉

82・4・1

No.1007

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)品五二七二〇七